



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社NIPPO

コード番号 1881 URL <http://www.nippo-c.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水島 和紀

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 傍田 明夫

TEL 03-3563-6752

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	151,964	5.4	4,955	147.9	5,136	157.6	2,733	—
23年3月期第2四半期	144,123	△6.9	1,998	△45.9	1,993	△48.0	208	△88.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 661百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,714百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	22.94	—
23年3月期第2四半期	1.75	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	333,926		176,184		51.8
23年3月期	364,336		176,981		47.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 172,968百万円 23年3月期 173,794百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	12.00	12.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	359,000	△4.2	9,800	△35.8	10,400	△32.9	5,600	△27.0	47.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	119,401,836 株	23年3月期	119,401,836 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	267,663 株	23年3月期	266,421 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	119,134,280 株	23年3月期2Q	119,140,707 株
----------	---------------	----------	---------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	258,000	△9.0	9,000	△37.8	4,800	△32.6	40.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

## 【添付資料】

## [目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. （参考）四半期損益計算書（個別）	10
5. 補足情報	11
(1) 受注高・売上高・次期繰越高明細（連結）	11
(2) 受注高・売上高・次期繰越高明細（個別）	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により落ち込んだ輸出や生産に持ち直しの動きがみられたものの、原発事故に伴う電力供給の制約や個人消費の低迷、更には欧米の財政不安を背景とした円高の進行など、先行きに対する不透明感が一層強まりました。

建設業界におきましては、震災復興を目的とした民間設備投資の動きがあったものの、公共投資が総じて低調に推移するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社および当社連結子会社（以下「当社グループ」という）は、各社が有する技術の優位性を活かした受注活動やアスファルト合材等の製品販売の強化に努めてまいりました。その結果、当第2四半期の売上高は1,519億64百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。利益につきましては、受注競争が激化するなか、コスト削減や業務の効率化による収益力の向上に努めてまいりました結果、営業利益は49億55百万円（前年同四半期比147.9%増）、経常利益は51億36百万円（前年同四半期比157.6%増）、四半期純利益は27億33百万円（前年同四半期純利益は2億8百万円）となりました。

なお、当社グループの主たる事業である建設事業においては、契約により工事の完成引渡ししが第4四半期会計期間に集中するため、第1四半期から第3四半期における完成工事高に比べ、第4四半期の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 建設事業

当社グループの主要部門であり、当第2四半期連結累計期間の受注高は1,620億38百万円（前年同四半期比39.9%増）、売上高は1,115億60百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は36億61百万円（前年同四半期比230.8%増）となりました。

## （舗装土木事業）

受注高は1,160億19百万円（前年同四半期比30.4%増）、売上高は823億22百万円（前年同四半期比7.7%増）、営業利益は34億43百万円（前年同四半期比100.1%増）となりました。

## （建築等事業）

受注高は460億19百万円（前年同四半期比71.4%増）、売上高は292億38百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益は2億17百万円（前年同四半期は営業損失6億14百万円）となりました。

なお、当社グループにおける主な完成工事、手持ち工事は次のとおりであります。

## 〔完成工事の主なもの〕

## （発注者）

株式会社新日鉄都市開発  
国土交通省東北地方整備局  
東日本高速道路株式会社関東支社  
阪神高速道路株式会社  
広島市

## （工事名）

(仮称)リビオ北26条マンション新築工事  
大木地区舗装工事  
常磐自動車道 友部S A舗装改良工事  
舗装補修工事(平成22年度)  
横川地区下水道築造21-2号工事

## 〔手持ち工事の主なもの〕

## （発注者）

丸紅株式会社  
中日本高速道路株式会社東京支社  
防衛省近畿中部防衛局  
交野市  
J X日鉱日石エネルギー株式会社

## （工事名）

(仮称)グランスイート瀬田二丁目新築工事  
第二東名高速道路 引佐舗装工事  
舞鶴(21)大波燃料施設新設工事  
新浄水場築造工事(土木建築工事)  
3SR装置 サルファーピット新設工事

## ② 製造・販売事業

売上高は284億31百万円（前年同四半期比2.0%増）、営業利益は31億97百万円（前年同四半期比22.3%増）となりました。また、主たる製品であるアスファルト合材の製造数量は375万t（前年同四半期比0.0%増）、販売数量は262万t（前年同四半期比3.3%減）となりました。

## ③ 開発事業

売上高は47億8百万円（前年同四半期比39.8%減）、営業利益は4億62百万円（前年同四半期比50.4%減）となりました。

## ④ その他

売上高は72億63百万円（前年同四半期比74.0%増）、営業利益は7億11百万円（前年同四半期比43.2%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期末における総資産は、3,339億26百万円となり、前連結会計年度末に比べて304億9百万円減少しました。これは、主に売上債権の回収により完成工事未収入金等が減少したことによるものです。

負債は1,577億41百万円となり、前連結会計年度末に比べて296億13百万円減少しました。これは、主に仕入債務の支払により工事未払金等が減少したことによるものです。

純資産は1,761億84百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億96百万円減少しました。これは、主に配当金の支払によるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前第2四半期連結累計期間末に比べ83億44百万円増加し、557億25百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、17億6百万円（前年同四半期は74億円の増加）となりました。これは、主に売上債権の回収によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、19億9百万円（前年同四半期は37億81百万円の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、18億50百万円（前年同四半期は14億78百万円の減少）となりました。これは、主に配当金の支払によるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、民間設備投資をはじめ建設市場の先行きや原材料価格の今後の動向が、現時点では極めて不透明な状況にあるため、平成23年5月11日に公表した業績予想値の見直しは行っておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	49,188	39,798
受取手形・完成工事未収入金等	119,465	95,179
リース債権及びリース投資資産	3,028	2,871
未成工事支出金	24,846	28,737
たな卸不動産	17,792	16,193
その他のたな卸資産	2,723	2,609
短期貸付金	8,501	16,079
繰延税金資産	4,912	4,882
その他	12,967	11,443
貸倒引当金	△1,238	△1,380
流動資産合計	242,189	216,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,493	59,898
機械装置及び運搬具	88,064	87,304
工具、器具及び備品	4,778	4,969
土地	55,012	55,143
リース資産	312	381
建設仮勘定	3,602	3,890
減価償却累計額	△117,938	△119,087
有形固定資産合計	93,326	92,501
無形固定資産		
投資その他の資産	1,247	1,246
投資有価証券	24,792	20,908
長期貸付金	656	515
繰延税金資産	266	295
その他	4,177	3,689
貸倒引当金	△2,319	△1,645
投資その他の資産合計	27,573	23,762
固定資産合計	122,147	117,510
資産合計	364,336	333,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	114,901	91,476
短期借入金	394	1,235
未払法人税等	5,305	2,412
未成工事受入金	11,120	13,956
賞与引当金	3,616	3,339
完成工事補償引当金	274	314
工事損失引当金	2,579	2,310
災害損失引当金	516	184
その他	17,062	14,035
流動負債合計	155,772	129,264
固定負債		
長期借入金	7,543	6,337
繰延税金負債	5,950	4,489
退職給付引当金	7,920	7,836
役員退職慰労引当金	64	59
資産除去債務	1,003	990
その他	9,098	8,762
固定負債合計	31,582	28,477
負債合計	187,354	157,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,324	15,324
資本剰余金	15,916	15,916
利益剰余金	133,450	134,747
自己株式	△167	△168
株主資本合計	164,524	165,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,270	7,147
その他の包括利益累計額合計	9,270	7,147
少数株主持分	3,187	3,216
純資産合計	176,981	176,184
負債純資産合計	364,336	333,926



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	144,123	151,964
売上原価	131,767	136,981
売上総利益	12,356	14,983
販売費及び一般管理費	10,357	10,027
営業利益	1,998	4,955
営業外収益		
受取配当金	253	262
不動産賃貸料	51	56
受取補償金	—	131
その他	180	166
営業外収益合計	485	617
営業外費用		
手形売却損	9	1
支払保証料	32	42
為替差損	191	226
デリバティブ評価損	202	37
不動産賃貸費用	31	33
その他	22	95
営業外費用合計	490	436
経常利益	1,993	5,136
特別利益		
固定資産売却益	21	26
貸倒引当金戻入額	435	—
その他	4	17
特別利益合計	462	43
特別損失		
固定資産除売却損	55	116
災害による損失	—	27
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	887	—
その他	21	38
特別損失合計	963	181
税金等調整前四半期純利益	1,492	4,998
法人税等	1,257	2,221
少数株主損益調整前四半期純利益	235	2,776
少数株主利益	26	43
四半期純利益	208	2,733

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	235	2,776
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,949	△2,115
その他の包括利益合計	△1,949	△2,115
四半期包括利益	△1,714	661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,730	610
少数株主に係る四半期包括利益	15	50









